

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		①平成15年度 ②平成16年度	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名		15	長寿御祝事業
根拠法令・例規等		①備前市長寿祝金条例 ②備前市高齢者ふれあい事業補助金交付要綱	
問合先		担当課(室)	介護福祉課
		職・氏名	高齢者福祉係長・春名美郎
		電話	0869-64-1827

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	①100歳の市民 ②年度内に75歳以上となる市民
目的(何のために)	①長寿祝金：高齢者に対し祝金を支給して敬老の意を表し、その福祉を増進する。 ②高齢者ふれあい事業：高齢者同士や近隣住民等とのふれあいのために町内会等が実施する敬老会等の行事に要する経費に対して、補助金を交付することにより、高齢者の心身の健康増進を図る。
行政活動(どのような方法で)	①祝金を支給する。 ②町内会等が実施する敬老会等に補助金を交付する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	①市内の高齢者宅を慰問することにより、長寿を祝うとともに、敬老精神の向上を図る。 ②地域でともに支えあいながら敬老の意を表し、高齢者の福祉の増進を図る。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	長寿祝金対象者	人	6	6	12
	高齢者ふれあい事業対象者	人	5,907	6,135	6,227
実績	直接事業費	千円	15,151	15,672	13,113
	必要人員人件費	千円	0.45人	0.21人	0.20人
	事業費計		19,111	17,459	14,702
財源	国・県・支・出・金	千円			
	受・益・者・負・担				
	繰・入・金				
	市・債				
	その他( )				
	一 般 財 源		19,111	17,459	14,702
	受 益 者 負 担 比 率	%			

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	敬老祝金対象者	説明			
	結果指標量	人	6	6	12
	対前年比	%	-	100.0%	200.0%
	活動コスト	円	740,000	557,000	1,354,000
結果指標②	高齢者ふれあい事業対象者	説明			
	結果指標量	人	5,907	6,135	6,227
	対前年比	%	-	103.9%	101.5%
	活動コスト	円	18,371,000	16,901,000	13,348,000
	単 位 当 た り コ ス ト	円	3,110	2,755	2,144

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
高齢者ふれあい事業75歳以上参加率 H21年度は高齢者ふれあい事業町内会・施設参加率	目標値(A)	52	60	50	100
	実績値(B)	42	49	51	到達目標年度
	達成率(B/A)	80.8%	81.7%	102.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
75歳以上参加者高齢者/ふれあい事業対象者 H21年度は申請町内会・施設/ふれあい事業対象町内会・施設					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	<p>敬老事業は、市主催で行っていたが、年々参加者が減少していったこと、支持母体の婦人会の解散等により、平成12年度に見直しを行い、町内会等が主体の事業としている。町内会等の自主的な活動として事業が浸透している。</p>	C	
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 高齢者ふれあい事業は補助金の増額の要望が強い		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	
	<p>高齢者ふれあい事業の補助金を一人当たり2,500円から2,000円に引き下げたため、コストが下がった。</p>	C	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 現在事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	
	<p>地域で祝うことにより、地域交流の促進につながる。町内会等が主体の事業となっている。</p>	C	

平成21年度の状況			
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量
	15	6,400	100
状況	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了		
説明	高齢者ふれあい事業は、補助金を一人2,000円から2,500円とし、事業を継続している。また、記念品配布のみの事業でなく、高齢者同士や近隣住民とふれあえる行事の実施を推奨している。		

総合評価	
<p>敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は町内会等の自主的な活動として定着しており、地域の一体感を高める意味でも継続が適当だと思われる。</p>	<p>評価区分&lt;A~E&gt;</p> <p>C</p>

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了					
説明	敬老精神の向上を図り、高齢者の福祉の増進を図るため、最小限の範囲で、敬老・慰問を続ける必要がある。また高齢者ふれあい事業は地域の一体感を高める意味でも継続が適当だと思われる。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		